

平成4年4月23日

区営高齢者住宅『千川つつじ苑』完成

住宅に困窮している高齢者のための区営住宅『千川つつじ苑』（千川2-9）が完成、23日、関係者を集めて落成式が行われた。

豊島区が整備を進めている高齢者住宅としては、昨年6月に完成した民間ビル借上げ方式による『要町つつじ苑（単身用15戸・世帯用1戸）』に次ぐものであるが、この『千川つつじ苑』は、公営住宅法に基づく区営住宅として23区で初めて建設された高齢者住宅である。

営団地下鉄有楽町線千川駅から徒歩10分の閑静な住宅地に建設された同住宅は、単身用24戸、世帯用6戸のほか生活協力員室、談話室をもつ。高齢者在宅サービスセンター『千川豊寿園』と千川区民集会室を併設。鉄筋コンクリート造3階建て、延床面積約2,531m²。（うち高齢者住宅は約1,752m²）

同住宅は、もちろん、段差の解消、手すり設置をはじめ、12時間玄関やトイレの扉が開閉しない場合、自動的に生活協力員に通報する安否確認自動装置を完備、お年寄りが安心して暮らせるよう配慮されている。

今年1月に行われた同住宅の入居者募集には、10倍を超える応募があったが、豊島区では、平成12年までに、400戸の高齢者住宅を建設する計画を進めており、この7月にも、『巣鴨つつじ苑（仮称）』の単身用住宅13戸の新規募集を予定している。

問合せ 高齢者施設整備課